

モニタリング結果報告書 (2018年度)

1. 施設概要

施設名	四季の森公園		
所在地	横浜市緑区寺山町・旭区上白根町		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/shikinomori/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（昭和32年4月）		
指定管理者名	四季の森公園パートナーズ		
指定期間	H27.4.1～R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況がA評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がB評価となり、3項目評価の結果はAとなった。収入の柱となっている駐車場等の利用率を上げていくため、従来からのプログラムのほか、リピートを促すプログラムの充実に加え、植物管理を主とする快適な利用環境の提供を適切に講じていくことが望まれる。また、基盤となっている樹林地や水系の管理は、膨大であり、継続的なボランティア活動を実現する仕組みづくりも重要であるため、今回成果をあげたボランティア育成講習を継続する等、受け皿の整備に努めてもらいたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況： 過年度のプログラムを発展させたボランティア育成講習により、4名の登録を得ることができた。未実施のはす池の底泥浚渫にあたっては、実施目的や生き物に配慮した実施時期等の方法について、利用者への十分な周知が必要である。</p> <p>◆利用状況： 大型イベント時の天候に恵まれたため、利用者数は、前年度比109%と増加し、目標達成率も100%となり、A評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度： 満足度調査を2ヵ月ごとに実施し、上位2段階の回答割合が91%のためS評価となったが、施設清掃に対する不満も多く見られた。</p> <p>◆収支状況： 人件費等の経費節減に努めたが、駐車場の収入減により、収支差額はマイナスとなり、収支比率が98%で、B評価となった。過年度から駐車台数は減傾向であり、構造的な問題である。</p> <p>◆苦情・要望等： 混雑時の臨時駐車場開設に関する苦情に対し、開設基準を明文化し、適切な運営に努めた。</p> <p>◆事故・不祥事等： 12/26に遊具への転倒による裂傷が発生した。部材への緩衝材の設置について、製作メーカーと調整を図った。</p> <p>◆労働環境の確保に関する取組状況： 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他： 2018年度の3項目評価はA評価とした。今後は、植物管理の充実による、より魅力的な里山の風景づくりに加え、快適な利用環境を提供する適切な管理の実施に努めてもらいたい。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	3月、6月、11月	集計が遅れたため。
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	○・無	指導・改善勧告等の内容
		臨時駐車場の管理規程を作成すること。

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
園内活動団体と連携した人材育成方策として、「四季守マスター塾」を6回開催し、ボランティア活動の機会を設ける。	4, 6, 7, 8, 10, 11, 2, 3月に実施。8名が講習を修了し、うち4名は、次年度のボランティアガイドとして登録した。	計画どおり実施しており、今後も、活動機会の確保を継続していくことが望ましい。
里山の紹介や魅力づくりのため、歳時記に合わせた伝承文化や昔遊び等の展示やイベントを、毎月開催する。	ビジターセンターで毎月展示、6, 7, 11月はイベントを実施し、季節感の演出を図った。イベント参加人数は、14, 131人であった。	計画どおり実施しており、今後も、里山の季節感を演出していくことが望まれる。
閑散期(1～3月)の利用者増を目的に、代表企業が指定管理業務を行っている他の県立公園と共同でクイズラリーを行う。	1～3月に、他の県立3公園と連携して実施。広域利用のニーズを掘り起こすことができた。参加人数は876人であった。	計画外の取組みだが、好評であり、リピーターやさらなる掘り起しの工夫が望まれる。
閑散期(1～3月)の利用者増を目的に、「冬の里山づくり」として、焼き芋、干し柿づくりや野鳥の巣箱づくりなど、冬の里山風景づくりを行う。	カキの苗木を2本植栽し、干し柿づくりのイベント実施を次年度計画として立案した。	魅力的な空間創造のため、楽しみながら点景をつくり込む風景づくりの継続が望まれる。
平成29年度に検討した、はず池の底泥浚渫、再資源化工法について、試験施工し、経過観察を行う。	吸引による底泥の浚渫を企画したが、コストを理由に未実施。一方で、池内の堆積土除去について要望が寄せられた。	堆積土を流出する流れ周辺も含めた対策や水生生物への影響を考慮した実施が望まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
有料駐車場事業の継続	臨時を含む2箇所の有料駐車場を運営した。
自動販売機の設置継続	園内各所に設置した8台の飲み物等の自販機設置を継続した。
売店経営の継続	社会福祉法人に業務委託し、菓子や飲み物等を販売する売店を1箇所経営した。

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
A	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	682,555	669,955	731,271
対前年度比		98.2%	109.2%
目標値	700,000	710,691	727,000
目標達成率	97.5%	94.3%	100.6%

目標値の設定根拠： 提案書の目標値から推定

利用者数の算出方法（対象）： 駐車場利用台数×10+団体利用人数+イベント参加人数+来園団体への聞き取り

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々 年度	当初 予算	70,405	0	14,431	駐車場 11,655 自販機 2,776	84,836	84,836	0	
	決算	70,405	0	14,329	駐車場 11,219 自販機 3,110	84,734	84,581	153	100.18%
前 年度	当初 予算	70,405	0	13,766	駐車場 10,935 自販機 2,831	84,171	84,171	0	
	決算	70,405	0	13,790	駐車場 10,685 自販機 3,105	84,195	84,420	-225	99.73%
2018 年度	当初 予算	70,405	0	15,012	駐車場 12,125 自販機 2,887	85,417	85,417	0	
	決算	70,405	0	12,957	駐車場 10,049 自販機 2,908	83,362	84,798	-1,436	98.31%

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	手紙	1 件	GW中に臨時駐車場を開けていないことについて臨機応変の措置を要望。	臨時駐車場開設を含む駐車場管理基準を定めた。
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容	メール	1 件	花見に来たのに移動販売車がサクラの近くに駐車し、また、音楽を流している様子。	移動販売車を園路沿いに移動し、音楽を流すことを止めた。
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
12月26日	① 6歳児が遊具広場の平均台で転倒、遊具の角で額を打ち裂傷、親の通報で病院に搬送。 ② 12/26に事故発生個所と遊具安全基準への適否等を確認(基準上支障なし)。 ③ 相手方の連絡先が不明なため、その後の状況は未確認。4月に緩衝材を遊具に設置済。 ④ 無 ⑤ バランスを崩しやすい場所に近接して角材が使用されていた。県が緩衝材を設置。 ⑥ 無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。